

第79回火山噴火予知連絡会・幹事会議事録

日 時：平成10年10月13日（火）12時00分～12時55分

場 所：気象庁第2会議室

出席者：井田、岡田（弘）、浜口、藤井（敏）、渡辺、藤井（直）、石原、田中（代理：国土庁）、森（代理：文部省）、
濱田

事務局：三上、安藤、佐久間

1. 長期予測ワーキンググループの報告

本会議で報告する。

2. 岩手山の対応について

国土庁から、13省庁の関係省庁連絡会の中で6省庁が、岩手山の対応のための会議を10月15日に開くという報告があった。また、本日、岩手県の方から防災マップの紹介がある。それに関連して泥流対策としてのワイヤーセンサーの有効性について検討した。

幹事会としては、地震計を用いたラハールセンサーを使う方向で検討して頂けないかという希望を出した。

3. 火山噴火予知連絡会のデータベースについて

開設の時期は未定だが準備は終わっている。初期の段階としては、対象を予知連委員及び関係者に限定したデータベースの提供とする。

4. その他

火山関係の情報について、異なる機関が異なる形で情報を発表すると住民の混乱を招く場合があることから、これに関する意見交換を行った。

結論としては、火山噴火予知連絡会として各機関に対して発表を控えるような指示はできない。しかし、火山噴火予知連絡会の対処としては、防災上重要な情報が出た場合にはできるだけ速やかに、火山噴火予知連絡会としての見解を発表したいということを幹事会で確認した。今までもやってきたことだが、ご協力をお願いしたい。

関連する情報を火山予知連絡会事務局の方にできるだけ速やかに、できれば発表する前に届けるようお願いしたい。火山噴火予知連絡会としても対応をできるだけ速やかに取りたい。その後に自由に発表して頂くことは当然である。